

平成25年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省25-1-4)

政策名	1 経済産業	施策名	1-4 基準認証			
施策の概要	我が国の基準認証制度の基礎となっている工業標準の整備、適合性評価、知的基盤整備等を一体的に推進する。					
達成すべき目標	<p>○我が国企業の競争優位を強固にする国際標準の確立、産業競争力強化に資する国内規格等の策定、世界的に通用する認証基盤の整備等を通じ、国内外の市場における我が国企業の戦略的な事業展開を促進するとともに、国内外の市場を創出する。</p> <p>○国民生活の安全と経済産業の基盤を支えるため、計量標準等の知的基盤の整備及び利用促進を図るとともに、計量制度の効果的な運用を行うことで、企業活動等の質を高め、国富の増大を図る。</p>					
施策の予算額、執行額等	区分		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	2,458	3,020	2,340	2,500
		補正予算(b)	0	997	▲ 7	-
		繰越し等(c)	984	▲ 970	970	
		合計(a+b+c)	3,442	3,047	3,302	
執行額(百万円)		3,155	2,775	3,048		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) ・知的財産政策に関する基本方針(平成25年6月7日閣議決定) ・知的財産政策ビジョン(平成25年6月7日知的財産戦略本部決定) ・知的財産推進計画(平成25年6月25日知的財産戦略本部決定) ・インフラシステム輸出戦略(平成25年5月17日経協インフラ戦略会議) 					

測定指標	標準化機関における幹事国引受数	基準値	実績値					目標値	達成
		22年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	27年度	達成
		78	94	-	-	-	-	95	
	年度ごとの目標値又は見込み	93	94	95	-	-			
	認証基盤整備の推進	施策の進捗状況(実績) スマートグリッド等戦略的に重要な分野について、国際的に通用する認証基盤の整備を開始。					目標 25年度	達成	

参考指標	工業標準の制定及び改正の件数【当該年度】	基準値	実績値						
		—	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		—	547	—	—	—	—	—	—
	JISマーク認証契約数【累計】	基準値	実績値						
		—	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		—	8,792	—	—	—	—	—	—
	知的基盤の整備数(計量標準)【累計】	基準値	実績値						
		—	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		—	661	—	—	—	—	—	—
	知的基盤の整備数(微生物遺伝資源)【累計】	基準値	実績値						
		—	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		—	84,885	—	—	—	—	—	—
	計量士の登録件数【当該年度】	基準値	実績値						
		—	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		—	687	—	—	—	—	—	—

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 目標達成 (判断根拠) 「標準化機関における幹事国引受数」が25年度末現在で94件となり、着実に増加しており、また認証基盤の整備についても、戦略的に重要な分野であるスマートグリッド等について、国際的に通用する認証基盤の整備を開始するなど、諸々の施策が順調に進捗しているため。
	施策の分析	25年度の「工業標準の制定・改正件数」は547件、「JISマーク認証件数」は8,792件となっており、我が国の工業標準の整備及び適合性評価については着実に進展している。また、25年度の「知的基盤の整備数」は計量標準分野において661件、微生物遺伝資源分野84,885件、「計量士の登録件数」も687件となっていることから、知的基盤整備や計量行政においても着実に進展している。 このように、標準化の戦略的な推進は、新しい技術や優れた製品の速やかな普及を通じて、国民生活の向上や様々な課題の解決に資するとともに、新市場の創造や競争力の強化による我が国産業の発展にも繋がるものであり、極めて重要。 戦略的な標準化の推進のためには、官民の適切な役割分担と省庁や産業分野を越えた連携の下で、体制整備などに取り組んでいく必要がある。 また、国際標準化を我が国が主導していくためには、人材の育成、国際的な連携や認証との一体的推進について、官民が協力して中長期的に取り組んでいく必要がある。
	次期目標等への反映の方向性	基準認証政策をより着実に進展させるために、国際標準化機構(ISO)・国際電気標準会議(IEC)それぞれの技術分野毎に標準化と認証を戦略的かつ一体的に推進するため、組織再編を行う。 また、戦略的な標準化の推進のため、「標準化官民戦略」を策定し、以下の具体策を官民で緊密に連携して実行していく。 1. 官民の体制整備 (1) 現行制度では対応困難な、複数の関係団体に跨る融合技術や、中小企業を含む少数の企業が保有する先端技術に関する標準化を迅速に進める「新市場創造型標準化制度」を構築 (2) 産業界における標準化戦略の強化 (3) 中小企業の標準化及び認証の活動に対する支援強化 (4) 標準化人材の育成強化 2. 世界に通用する認証基盤の強化 3. アジア諸国等との連携強化

学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	—
---------------------------	---

担当部局名	産業技術環境局基準認証政策課	政策評価実施時期	平成26年8月
-------	----------------	----------	---------